

まめっこフェスティバルで一步踏み出せた!

(特)野田子ども劇場

理事長 北倉恵美子



野田市内、7つの子育て支援団体が実行委員会を作り、乳幼児の親子で楽しくふれあい、子どもたちの元気と生きる力をはぐくんでいく機会として、また、パパ・ママが相互に交流し合い子育てを共有できる場として「まめっこフェスティバル」を2月15日(土)に実施しました。野田子ども劇場では珍しく他団体と協力しての活動です。

今回の目玉はプロによる、0才児からの親子のための〈初めてのコンサート〉「ナメちゃんライブ!」。実行委員会では、参加費を親子券500円と決定したため、どうしても他に財源を考えなければなりません。そこで、子ども劇場千葉県センターの「子どもアートステージファンド」に応募し、採択されました。実は、審査員の前でのプレゼンテーションは初めて。審査基準の「地域社会への貢献性」について、これを具体的に語るほど私に力はありませんでした。しかし、助成金を獲得しても、まだ資金に不安が残ります。そこで協賛金のおねがい活動を展開しました。願いの活動は私にとって気が重いものでした。何もしないで「出来ない」というのも大人げない!少しはやって

みようか? チーパス(ちば子育て家庭優待カード)加盟店を訪ねてはどうだろう? 協賛金に1口500円はどうだろう? 実行委員会の前向きな姿勢が伝って、「若い親子さんは大変だよね。」「チラシを置くよ」「協賛するよ」など地域に応援者を発見できたことが励みになりました。訪ね先でアッサリお断りされることも多いです。けれども、こんなことをするんだと、堂々と説明でき、協力して欲しいと、こちらから握手を求める。一人ではできないけれど、仲間と一緒になら少しはやれるのです。小さな+1を集めること。私にとってこの体験が貴重でした。野田子ども劇場だけのことでしたら“やる”と決定できなかったかもしれません。いろいろな団体の集まりだからこそ、お互いの発言に刺激されて行動できたと思っています。

当日は雪と雨。でも67人の親子が来てくれました。来年度も7月21日(予定)に実施します。野田子ども劇場を片手に下げて、野田市の親子とおしゃべりする幸せな時間です。来年度のファンドはお休みとのことですが、いつか復活することを心から願っています。

私からのメッセージ

子どもたちから元気をもらい子どもが大好き!

元 村上北小学校放課後子ども教室

スタッフ

佐藤 達朗



私は、村上北小学校での放課後子ども教室のスタッフとして、約三年間務めさせていただきました。

校庭や体育館で鬼ごっこをして子どもたちとおもいきり駆け回ったり、バスケットやドッジボールを一緒にやったりしました。子どもたちの大好きなダンボール遊びや工作もやりました。子どもたちの下校の際には、通学路を送って行って、歩きながらいっぱい話しました。

当初は、やはり子どもたちの言動の理解に苦しみました。親しみの現れか、友だち感覚でからかうような言葉を受けました。背後からいきなり抱きつかれることもありました。

子どもの安全を見守りトラブルを解消させるというのは初めてのことでとても困惑しました。なので最初は怒鳴って叱ることが度々あり、果たしてこの解決方法で良いのか悩んだことがありました。

しかし、その悩みは周りのスタッフの方に意見を

聞いて助言をもらい、子どもの気持ちやそうさせる原因がわかるようになり、段々と話し合いで解決する等の対処ができるようになりました。

おかげさまで私自身も人として成長することができたように思えます。

この事業が始まる前の私は、学校を中退し自信をなくして落ち込んでいた時に誘ってもらいました。ここのスタッフになれて本当に良かったと思います。一人ひとりのスタッフに支えられ、その成果、大きな事故も起きずに子どもたちの楽しそうに遊んでいる姿と、成長していく姿を見ることができてとても嬉しいです。

子どもたちからたくさん元気をもらい、今では子どもたちのことも大好きです。ここで働けたことを誇りに思います。

関わってくださったスタッフの皆様、そして子どもたちには感謝の気持ちでいっぱいです。